



2019(令和1)年度事業報告書

2019.1月1日～12月31日

特定非営利活動法人 マニラ育英会

1. 事業内容

- (1) フィリピン・マニラ首都圏及び周辺部の就学環境の調査及び支援、整備
- (2) 日本の協力者の募集
- (3) 特定非営利活動に係る事業の普及、啓発、人材育成

2. 事業の成果

- (1) の「就学支援」にあたり、マニラ側の業務提携法人 I.W.A(IKUEKAI WELFARE ASSOCIATION INC.) から新規スカラー26名が推薦され受け入れた。それによりスカラー総数は330名となった。

教育里親事業が実施されている学校とエリア、規模について（就学支援実態）

(2019年度12月31日現在)

分類	地域名	主なる学校	受益対象小学生/ハイスクール生の数
A/AH	マニラ市 サンファン地区	サラパン小学校、サンファン小学校 及び両校出身ハイスクール学生	小学生 5名(前年比+2名) ハイスクール 23名
C	ラスピニャス市	パンプロナ小学校 (2018～)	小学生 10名 (前年比+5名)
D/DH	ラスピニャス市	ドナ・マニュエラ小学校卒業 HS ムーンウォーク小学校 (2018～)	小学生 5名、ハイスクール 6名
F/FH	ラスピニャス市	ダニエルファハルド小学校、 ラスピニャス国立ハイスクール他	小学生 15名 (前年比+4名) ハイスクール 61名
M/MH	ラスピニャス市	マヌヨ小学校/HS ラスピニャス国立ハイスクール他	小学生 16名(前年比+5名) ハイスクール 45名
L/LH	マニラ市パコ地区	ルクバン小学校、卒業生	小学生 3名、ハイスクール 21名
O/OH	マカティ及び郡部	中心部と郡部の小学校と HS 学生	小学生 4名、ハイスクール 14名
P/PH	マニラ市パサイ	国立フィリピン聾学校初等部/高等部	初等部 22名(前年比+9名) 高等部 37名
S/SH	マニラ市 サンファン地区	サンタアナ小学校、卒業生	小学生 3名(前年比+1名) ハイスクール 23名
RH	マニラ市	ラファエルパルマ卒業生	ハイスクール 3名
TH	トンド地区	ドンボスコテクニカルスクール等	ハイスクール 1名 (前年比-3名)
V/VH	サンタメサ地区	マザーマダレナ教育財団	ハイスクール 13名(前年比-4名)

教育支援スカラー数 330名 (前年比 -19名) 小学生 83名(+26名) ハイスクール生 247名 (-45名)

2019 教育里親事業における奨学金と委託費の送金実績

	金額	明細	備考
5月27日	2,145,000円	6,500円(奨学金5,000円+委託費1,500円)×330人 前期奨学金2,300P	前期奨学金+委託費
10月28日	1,655,000円	5,000円(奨学金5,000円)×331人 後期奨学金 2,290P	後期奨学金
11月21日	496,500円	1,500円(委託費1,500円)×331人	後期委託費

注記；2019年度大学支援事業費及び委託費は300,000円送金(2018.12.28 円対ペソ好転期)

(1) と(3) 当該地域で事業を実施している他 NGO を見学し情報交換の機会とする。

ー 9月15日～19日育英会ユースメンバーが、スタディツアー催行。

成果①UNIQUEASE(ユニカセ)レストラン訪問(マニラ首都圏マカティ)創設者中村さん(現地在住)からお話を聞く。貧困問題を抱えるフィリピンの青少年の雇用機会創出のため「食」を見直すビジネスを2013年からスタート、12名の若者とともにマクロビレストランを経営している。現地の人々のネットワークのある育英会と何か協働できることがあればとのこと。(今後の事業へのヒント)

成果②スポンサースクールから寄附された学用品を該当スカラー(4名)に届け交流促進の契機とする。

成果③スカラーオブザイヤー2018に選ばれた4名の大学生との話し合い。大学生同士の情報交換。

(2) 日本の協力者(スポンサー&寄附者)の状況について

2019年4月時点での教育里子数330名に対して2019年12月末までの寄附者はのべ**297名**である。1対1支援が減少傾向にあり、その分を寄附によりまかなっている状態である。新スカラー(3年生)で未だスポンサーのない子(18名)里親退会または退会したであろうスカラー(10名)合計**28名**。3月卒業予定の12年生は34名(うち**5名**は会費未入金)よって約33名分×10,000円=330,000円が、寄附金で賄いながらサポートを継続してきた事になる。両サイドの事務費に関しても節約して運営していくしかないのだろうか。

(3) 特定非営利活動に係る事業の普及、啓発、人材育成については3において報告する。

3. その他の事業実施に関する報告

①スタディツアー報告会

11月23日10～11:30 岩手県民情報センターアイーナ6階 団体活動室4 参加者19名
ースポンサー校から依頼を受けての出前プレゼンテーション

11月26日8:30～盛岡市立下小路中学校 全校朝会にて パワーポイント発表(高橋、谷地)
内容:育英会説明、マニラツアーで感じたこと、支援中のスカラーAuroraさんからの
メッセージビデオ等

②広報活動 ニュースレター2019 SUMMER 夏号 1回発行

③スポンサーとスカラーの交流 — 奨学金領収証、手紙

(I.W.A. 取扱分) 里子から 1/31, 3/7, 4/10, , 5/1, 7/17,8/6, 9/14,10/15, 12/21 合計 568 通
(マニラ育英会取扱分) 里親から 合計 4回 116 通

④育英会ユースによる活動

新会員募集 (5月) 岩手県立大学にて 会員 8名 (2019,12月末日現在)
活動 (土曜日) マニラからの手紙の翻訳、発送作業 等がある都度に呼びかけ。
里親校のリクエストで、育英会情報発信、支援里子の情報提供、P.Pによる現地情報伝達。
(盛岡市立厨川中学からスカラーに文房具の寄附をツアー時に行った。残りは事務局に預け
後期奨学金給付時に必要のある子どもに配布してもらった。)

⑤認定非営利活動法人格取得申請について (経過説明)

1月 損保ジャパンより法人認定化助成金 30万円受領

3月一所轄庁に平成30年度活動報告提出とともに定款の変更申請を行った。

変更内容は、以下の2点。(認定NPO法人として事業展開しやすくするため)

事業(第5条「日本の協力者(里親)の募集」から「日本の協力者の募集」

会員(第6条「種別4種類」から「正会員、賛助会員」の2種類

5月一変更認証され、法務局にて登記申請。 6月一登記完了

7月~8月一県の認定NPO法人取得相談員と4~5回面談し必要な書類一式の説明を受ける。

10月7日一申請書類一式を提出&受理(この後しばらく審査待ち。他2団体が先に申込した為)

10月31日一2017年度、2018年度の総勘定元帳提出

1月22日(水)10~16 実態確認(橋本専門員、本山主事 vs 岩根代表、八木)12/25日連絡受

1月23日(木)指摘事項(改善要)①寄附者名簿の整合性②適正な経理③H29事業報告遅延

④事務所の所在が不明なので看板等の設置、常に連絡の取れる体制を(4項目は改善し提出済)

2月19日(水)令和1年分の元帳、活動計算書(注記付)提出。閲覧資料整備済。(懸案事項クリア)

3月中旬には決定か。

⑥業務提携法人 I.W.A.(マニラ側国際教育里子事業受入れ団体)の活動状況

パナリガン代表を中心にデ・レオン校長の力添えを得て組織として成熟してきている。

公認会計士の助言を受け報告書を国税庁に提出(スカラー領収証の全てをコピーして添付)

市役所への届出をし「業務許可証」を更新している。時間、コストのかかる作業だが、

法人として社会的に責任ある事業を展開する為クリアしている。PICの健康問題一最も

長く育英会を支えたバロ先生(A/AH担当)が6/29ご逝去(72才)ゴロヤ先生も闘病中。

⑦会議

定例総会 2月21日(木)18:30~19:30 クリエイトビル4F 会議室 盛岡市大通3-1-23

第1回理事会 2月21日(木)19:30~20:30 クリエイトビル会議室 同上